平成22年度　官庁施設保全連絡会議を東北各県で開催

今年度は6月1日の福島会場を皮切りに、東北6県で官庁施設保全連絡会議を開催しました。
各会場合わせて276名と多くの皆様に参加をいただき、ありがとうございました。
今年度の会議は、国家機関を対象に7月16日及び7月30日の報告期限で依頼しました「保全実態調査」への協力要請等を踏まえ、6月上旬～中旬に開催させていただきました。

◆午前中に「保全実態調査説明会」を開催しました

会議に先立ち、国家機関の方を対象に「保全実態調査説明会」を開催しました。
保全実態調査の概要や保全業務支援システム（BIMMS-N）を利用した保全実態調査の基本的な入力方法や、特に注意して入力していただきたい点、及び過去の調査で間違いが多かった点などを説明させていただきました。

宮城地区官庁施設保全連絡会議

◆官庁施設保全連絡会議の議題

午後からの保全連絡会議では、例年ご説明している「国家機関の建築物等の保全の現況」、「国家機関の建築物の定期点検について」、「地震等災害時及び事故・故障発生時の報告について」の他に、今年度は新たに、建物の不具合の事例・対処方法・予防方法などを紹介した「建築物の保全指導事例について」、照明の基礎知識や最近話題のLED照明について紹介した「省電力型照明の動向」、といった議題についても説明を行いました。

◆アンケートの結果から

多数の方にアンケートの御協力をいただき、ありがとうございました。
今年度は、例年行っている本会議についてのアンケートの他に、国家機関の方には「国家機関の建築物等の施設管理者等に対するアンケート」という非常にボリュームの大きいアンケートにもご協力をいただき、大変お手数をおかけしました。
本会議についてのアンケートからは、やはり、建物の定期点検の実施方法等についての関心が非常に高く、それについての意見や要望等も多数寄せられました。
また、今年度新たに取り上げた「省電力型照明の動向」のLED照明についても様々な感想や意見をいただき、省エネ・CO2削減に関心のある方が多いことをうかがわせる結果となりました。
また、「非常に参考になりました」等のお褒めの言葉をいただいた一方で、「全体的に説明が早口」「専門用語が多く解りにくい」などの意見もいただきました。
今回実施した「国家機関の建築物等の施設管理者等に対するアンケート」からは、皆様が時間も予算も少ない中、苦労して施設の保全に取り組んでいる様子がうかがえました。
このアンケート結果を参考に、来年度以降も「官庁施設保全連絡会議」を開催いたしますのでよろしくお願いします。